記者発表資料

平成２７年６月２４日
東 北 地 方 整 備 局
七 ヶ 宿 ダ ム 管 理 所

七ヶ宿湖にて水面が黄褐色に見える現象が発生

七ヶ宿湖において、ダム湖への流入支川の一部で水面が黄褐色に見える現象（淡水赤潮）が発生しました。
七ヶ宿湖の貯留水は水道水やかんがい用水などに利用されていますが、水利用への影響は生じていません。
引き続きダム貯水池の監視を強化するとともに、関係機関と情報共有して参ります。

〇発生経緯
６月２２日：ダム湖面巡視で、流入支川の小梁川・大梁川及びダム堤体付近において、黄色い筋を発見。
発生箇所の水を採取し、水質調査（分析）を実施。
６月２３日：流入支川の小梁川・大梁川、烏川において、局所的に黄色い筋を確認。
（ダム堤体周辺での発生は見られない）
分析結果により原因物質が判明。
６月２４日：流入支川の小梁川・大梁川、烏川において、黄色い筋を確認。
（ダム堤体周辺での発生は見られない）　（別紙参照）

〇分析結果
黄色べん毛藻のUroglena sp.（ウログレナ属）が優占種としてみられた。
※ウログレナ：淡水赤潮を形成する代表的な藻類

〇現在の状況
・取水障害は発生していません。
・阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会を通じ、随時、関係機関への情報提供を実施しています。
・引き続き貯水池の巡視、ＣＣＴＶカメラによる監視体制を強化します。

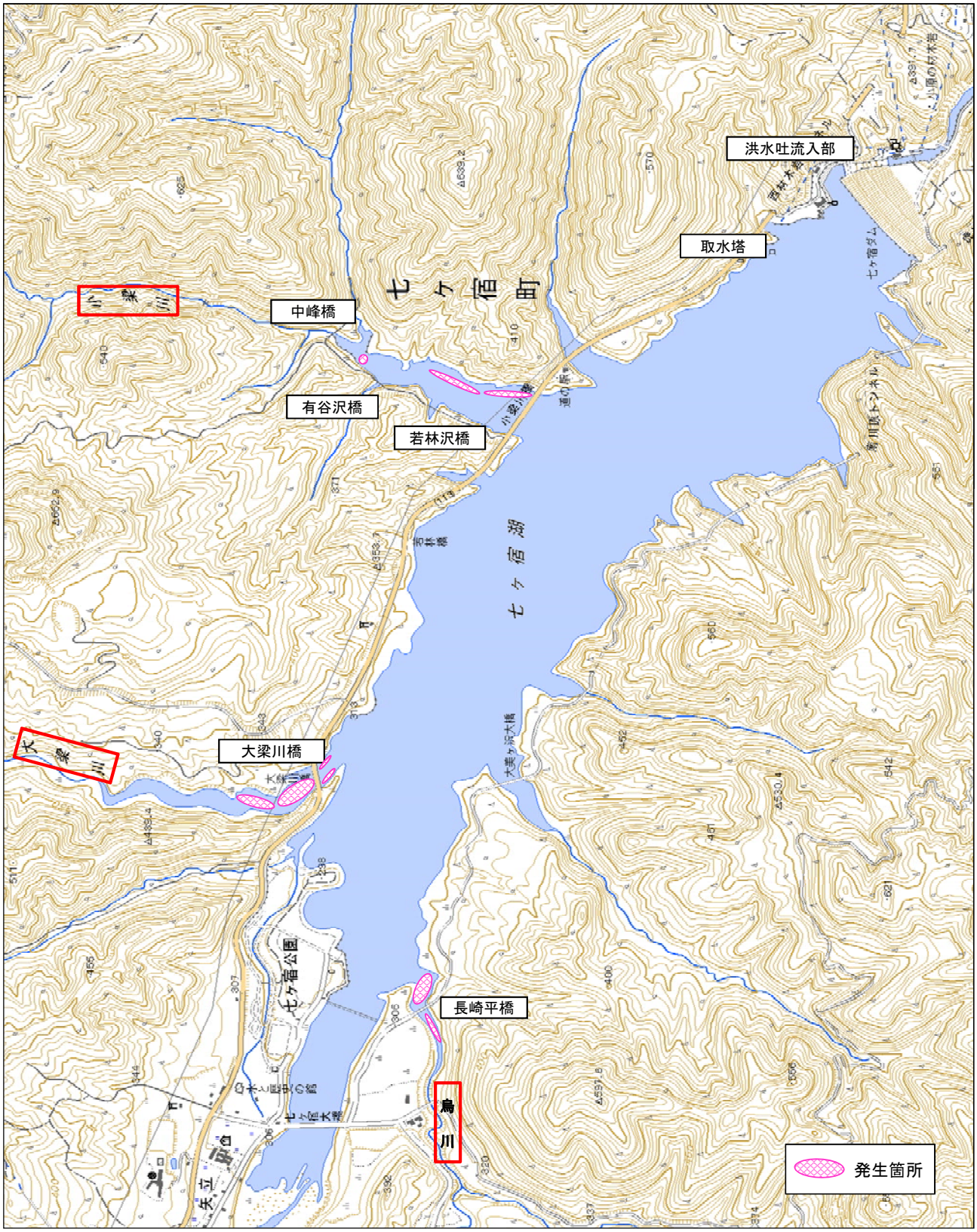
※淡水赤潮
湖沼やダム湖などの淡水域で特定のプランクトンが大発生し、表層水中に集積することによって、水が褐色ないし黄色味を帯びて変色する現象を指す言葉です。
※阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会
阿武隈川水系の河川、湖沼及び水路について河川水質汚濁対策及び河川環境の保全に関し、関係機関相互の連絡調整を図ることを目的に組織されています。
（構成機関は、国土交通省・経済産業省・宮城県・阿武隈川流域市町及び消防本部で構成されています。）

＜発表記者会：仙南記者クラブ＞

（問い合わせ先）
国土交通省東北地方整備局七ヶ宿ダム管理所
宮城県刈田郡七ヶ宿町字切通５２－４０
ＴＥＬ　０２２４－３７－２１２２(代)
管理所長　阿部（あべ） 富雄（とみお）
専 門 職　及川（おいかわ） 智博（ともひろ）

別紙

七ヶ宿湖周辺図


洪水吐流入部
取水塔
七ヶ宿ダム
七ヶ宿町
小梁川
中峰橋
有谷沢橋
若林沢橋
七ヶ宿湖
大梁川
大梁川橋
七ヶ宿公園
長崎平橋
鳥川
発生箇所